

2022 年 3 月 11 日

2022 年 2 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参テキストを中心に、封筒や小ロット案件の荷動きが前月に引続き堅調に推移し前年を若干上回ったが、前々年比では 90.1%であった。

巻取は教科書、塾テキスト、金融、株主総会各案件の動きが活発に推移したこともあり前年を大幅に上回ったが、前々年比では 88.5%でありまだまだ厳しい荷動きであった。

（前年比 平判 100.4% 巻取 152.6%）

再生紙平判は前年並みの動きがあったものの、巻取は大口物件の動きが乏しく前年を下回った。前々年比では 59.8%と大幅に下回った数字となった。

（前年比 再生上質平判 96.7% 再生上質巻取 73.7% 再生上質計 90.5%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 107.8%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、教育関係等各企業向けカタログ、パンフレットで動きがあり、マット紙は前年を上回った。

巻取は生損保、食品デリバリー、通販向けと一部レジャー関係で動きがあり、マット紙、グロス紙とも前年を大幅に上回った。

まん延防止等重点措置が実施され各業界においてコロナ禍での自粛が継続されているが、全体でも前年実績を上回った。

（前年比 平判 99.3% 巻取 118.9% 全体 104.6%）

（前々年比 A2 コート計 84.4%）

<A3 コート>

学習塾、食品スーパー、量販店、ドラッグストアの定期的なチラシ案件と、一部株主総会招集通知で動きがあり、平判、巻取とも前年を上回った。

（前年比 平判 111.6% 巻取 113.3% 全体 112.8%）

（前々年比 A3 コート計 95.3%）

<ノーカーボン紙>

生損保の改定で一部動きがあり、ワクチン関連の動きも見られたが、一般帳票の動きが弱く特需的な動きもなく、平巻共に前年を下回った。

（前年比 平判 89.3% 巻取 92.1%）

#### <上質フォーム>

官庁、自治体納付書や金融関連と一般の動きも堅調に推移し、生損保及びワクチン関連の特需も一部みられ前年並みに推移した。

(前年比 100.6%)

#### <包装用紙>

特殊両更は官公庁向け、一般企業向け封筒の動きが堅調に推移し前年を上回った。

(前年比 111.7%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途の動きが増えてきたことと、生花向け用途にも動きがみられ前年を大きく上回った。

(前年比 163.7%)

片艶晒は官公庁向け、生命保険会社向け封筒の動きは堅調に推移し前年を上回った。

(前年比 105.7%)

両更晒は金融機関向け、生命保険会社向け封筒が順調に推移し前年を上回った。

(前年比 115.8%)

純白ロールは主にお土産用途が回復傾向にあり低調であった前年を上回った。

(前年比 118.1%)

包装紙全体でも 117.2%と前年を上回った。

#### <板紙>

コートボールはまん延防止等重点措置が適応されてから再び土産物の動きが鈍くなっているが、食品、菓子、化粧品関係は底堅い。

特板はテイクアウト向けや、通販関係が堅調であった。

チップボールは出版、エンタメは低調であったが、文具用のファイル向けは堅調であった。

全体では前年を上回った。

(前年比 109.1%)